

JOHANNUS

ヨハネスオルガン

取扱説明書

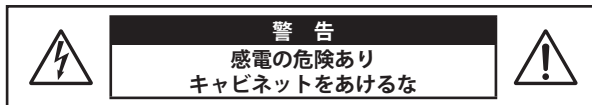
STUDIO 150 スタジオ 150

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。お子様がご使用になる場合は、お子様の安全のために、保護者の方の管理の下、お子様に注意事項を守っていただきますようお願いいたします。

■ 製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。



注意：感電防止のため本体の内部を開けないでください。機器の内部にはお客様が修理／交換出来る部品はありません。点検や修理は必ずお買い求めいただいた販売店、またはお近くの弊社フィールドサポート担当までご依頼ください。



このマークは感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

■ 警告と注意、記号表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。



△記号は注意(用心してほしい)を促す内容があることを告げるものです。



○記号は禁止(行ってはいけない)の行為であることを告げるものです。



●記号は強制(必ず実行してほしい)したり、指示する内容があることを告げるものです。



警告



100V以外禁止

電源は必ずAC100Vを使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。



付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。



電源コードを熱器具に近付けたり、無理に曲げたり重い物を載せたりして傷つけない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



本機を分解、修理、改造しない



落とさない

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

怪我および破損の恐れがあります。



この機器の上に花瓶等の液体の物を置いたり、水にぬれるような使い方をしたりしない
故障・感電・発火の原因になります。



水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。



異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く



異物を入れない

本機の内部に異物を入れないようにする
水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。



照明用のロウソクなどの裸の火を機器の上に置かない



使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- ・窓際など直射日光の当たる場所
 - ・暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
 - ・戸外など極端に温度の低い場所
 - ・極端に湿度の高い場所
 - ・砂やホコリの多い場所
 - ・振動の多い場所
 - ・本体の放熱を妨げる様な周囲が囲まれた場所
- 故障の原因になります。

⚠ 注意



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。



プラグを抜く

落雷の恐れのある時や長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

感電・火災及び故障の原因になる恐れがあります。



電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。



指をはさまれないよう注意

鍵盤蓋で手や指をはさまないように注意する
鍵盤蓋はゆっくり取り扱ってください。勢いよく動かすと手や指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。



ぶつからない

本機のカド部でけがをしないよう注意する
頭等をぶつけると、けがの原因になります。



手や足を入れない

鍵盤蓋やペダルの下等、本機の間隙に手や足を入れない

はさんだり擦れる恐れがあり、けがの原因になります。



持ち運びは2人で行う



電源プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておく

この機器は電源スイッチを切った状態でも主電源から完全に遮断されているわけではありません。完全に遮断するためには、電源プラグを抜いてください。プラグは直ぐに抜くことが出来る状態にしておいてください。



お子様の行動に十分注意してください

お子様が使用する場合や周囲にお子様のいる場所での使用においては、大人の監視のもと十分注意し使用してください。



上に乗らない

本機の上に乗ったり、重い物を乗せたりしない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。



使用しない

イスは次のように使用しない

- ・イスを不安定な場所に置かない
- ・イスで遊んだり、イスを踏み台にしたりしない
- ・イスには2人以上で座らない
- ・イスに座ったまま高さ調節をしない(調節機能付きの場合)
- ・ネジの緩んだイスに座らない

イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。



不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。



タコ足配線禁止



ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。



ディスプレイの表面に爪や鋭利なもの、硬いものなどを強く押し付けない

傷の発生や破損の原因となります。



強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えない

傷の発生や破損の原因となることがあります。

■ お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ベンジンやシンナーで本機を拭かない	色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

* お手入れの際は、電源コードを抜くこと。

■ 保証書について

本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

■ 銘板について

器種名、製造番号等の情報は、製品下面の銘板に記載されています。

■ 修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

目次

1 安全	2
1.1 安全な設置	2
1.2 楽器使用上に関する記号	2
1.3 取扱い説明に関する記号	2
2 設置	3
2.1 据付と接続	3
2.1.1 オルガンの据付	3
2.1.2 譜面台の取り付け	4
2.1.3 足鍵盤の取り付け	4
2.2 電源オン	5
2.3 移動と保管	5
3 各部の名称	5
3.1 主な構成	5
3.2 パネル部	6
3.3 周辺機器との接続	7
3.4 外部接続	7
4 操作	8
4.1 ボリューム	8
4.2 エクスプレッションペダル	8
4.3 リバーブ（残響）システム ASR12	8
4.4 オルガン様式	9
4.5 ストップ	9
4.6 カプラー	9
4.7 アクセサリー	9
4.8 プリセット	10
4.9 メモリー	10
4.10 トランスポーズ(移調)	11
4.11 ヨハネスメニュー	11
4.11.1 データダンプ	11
4.11.2 デモ曲	12
4.11.3 ディスプレイ コントラスト	12
4.11.4 エクスプレッション ペダル	13
4.11.5 キーボード設定	13
4.11.6 キーボリューム	14
4.11.7 MIDI（ミディ）設定	16
4.11.8 リセット手順	17
4.11.9 リバーブの設定	17
4.11.10 スタート時の設定	18
4.11.11 テンペラメント（音律）	18
4.11.12 チューニング	19
4.11.13 バージョン	19
5 メンテナンス、トラブルシューティング、保証	20
5.1 メンテナンス	20
5.1.1 キャビネットのお手入れ	20
5.1.2 鍵盤のお手入れ	20
5.2 不具合	20
5.3 保証	20
6 MIDI（ミディ）インプリメンテーション	21
6.1 MIDI（ミディ）インプリメンテーションチャート	21
6.2 MIDI（ミディ）仕様	22

1 安全

1.1 安全な設置



- オルガンを安定した水平面に置きます。
- 100V電源にコンセントを挿します。
- 使用しない時はスイッチを切ってください。
- 湿気の多い場所に置かないで下さい。
- 水に濡らさないで下さい。
- 取扱説明書をお読みいただき、注意深く扱ってください。
- 取扱説明書はオルガンと一緒に保管して下さい。
- このオルガンはヨハネス社が認めた技術者のみが修理出来ます。
- このオルガンは静電気に敏感な部品で構成されています。
- ヨハネス社に認められていない技術者が修理した場合、保証が打切られます。

1.2 楽器使用上に関する記号



注意



感電に注意



静電気に弱いため、取扱い注意

1.3 取扱い説明に関する記号



注意または重要な情報

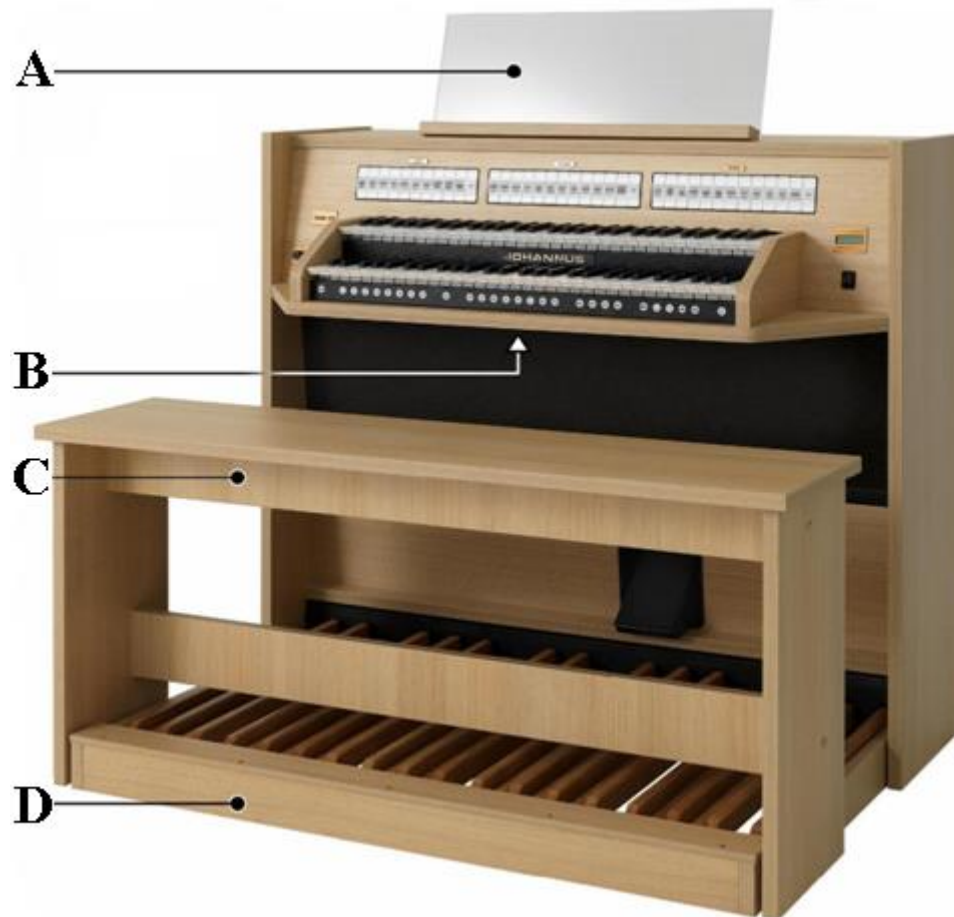


注記

2 設置

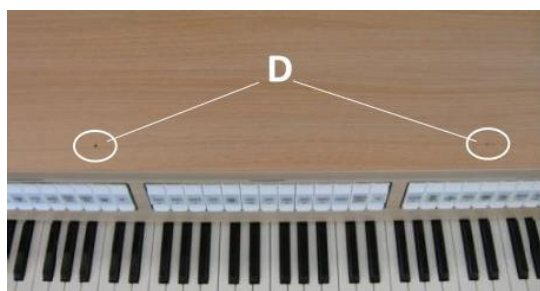
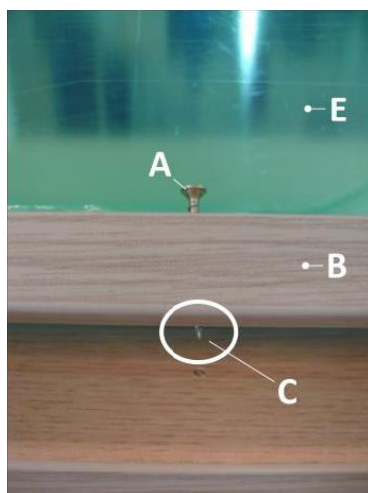
2.1 据付と接続

2.1.1 オルガンの据付



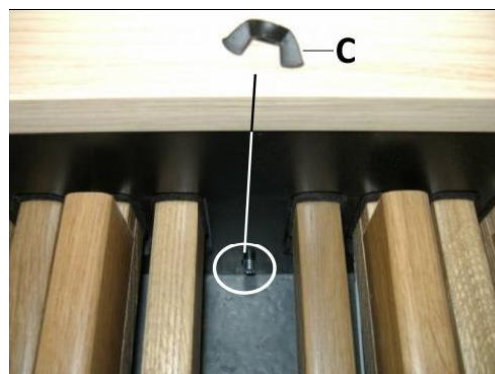
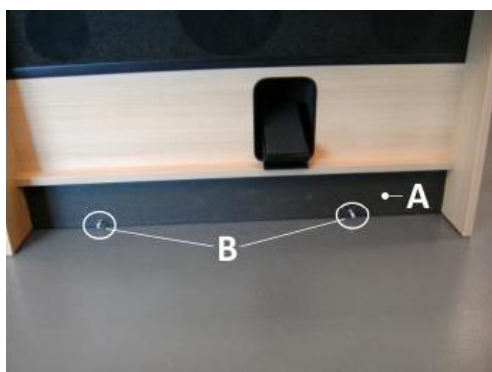
1. しっかりした平面上に置きます。
2. 譜面台(A)を取り付けます。2.1.2項を参照してください。
3. 足鍵盤(D)を取り付けます。2.1.3項を参照してください。
4. オルガンの椅子を足鍵盤をまたいで置きます。
5. 電源電圧にオルガンの(規格)電圧が一致していることを確かめてください。
棚板下の製造表示シール(B)で確認できます。
6. アースの取ってあるコンセントに接続して下さい。

2.1.2 譜面台の取り付け



1. 真鍮の皿目ネジ(A)を譜面棒(B)から先端が2mm出る(C)ように手で廻します。
2. ネジの先端が下穴(D)に入るように譜面台を正しい位置に置きます。
3. ドライバーでネジを締めて譜面台を固定します。電動ドライバーはお奨めできません。
4. 緑色の保護フィルム(E)をアクリル面から剥して下さい。

2.1.3 足鍵盤の取り付け



1. 足鍵盤を黒い前面カバー(A)の方に移動させます。ペダルのボルト(B)が5mm突き出ます。
2. 安全のため、オルガンと足鍵盤を蝶ナット(C)で固定してください。

2.2 電源オン

手鍵盤の右隣にあるON/OFFスイッチを入れます。
ディスプレイが右のようになります。
初期設定に時間がかかりますので少し待ちます。
(O)ピストンのランプが点灯し、標準のセッティングとなります。
ディスプレイが右のようになります。

Initializing...
Please wait

Studio Mem: 1
Tr: 0/440 Exp:Sw

2.3 移動と保管

運送する時と保管する時は、次の点に注意して下さい。

1. オルガン本体から、譜面台と足鍵盤を取りはずします。
2. 保管場所の相対湿度: 40~60%で保管して下さい。

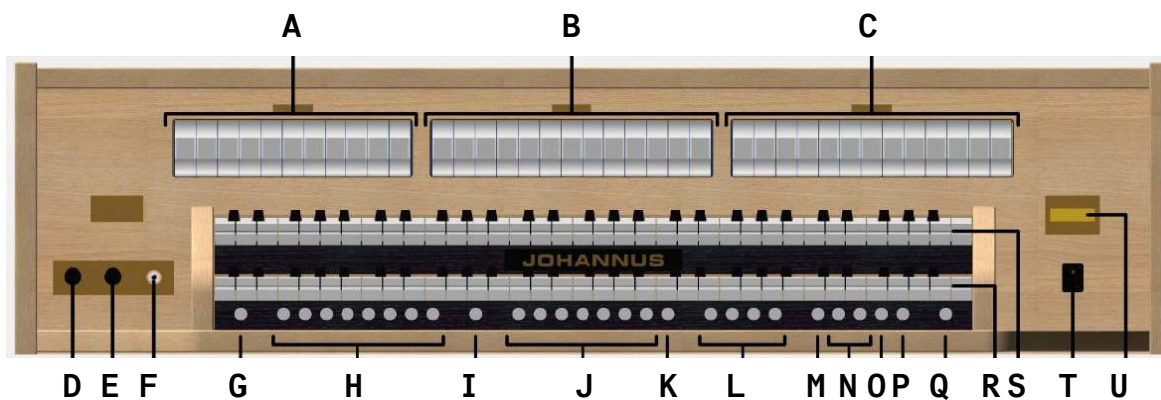
3 各部の名称

3.1 主な構成



- A 譜面台
- B スピーカー
- C 専用椅子
- D エクスプレッションペダル
- E 足鍵盤

3.2 パネル部



- | | | | |
|---|---------------------|---|-----------------|
| A | ペダルストップ | L | オルガン様式 |
| B | グレートストップ | M | トランスポーズ（移調） |
| C | スウェルストップ | N | - / + ボタン |
| D | 音量コントロール（ボリューム） | O | ENTER: エンターボタン |
| E | カテドラルコントロール（残響） | P | MENU: メニューボタン |
| F | ヘッドフォン端子 | Q | 0: リコール/リセットボタン |
| G | SET: メモリーシステムセットボタン | R | グレート鍵盤 |
| H | キャプチャーメモリー部 | S | スウェル鍵盤 |
| I | CH: コーラスボタン | T | 電源On/Offスイッチ |
| J | プリセットボタン | U | ディスプレイ |
| K | RO: リードオフボタン | | |

3.3 周辺機器との接続

オルガンに関連機器（例えば、MIDI機器）を接続できます。

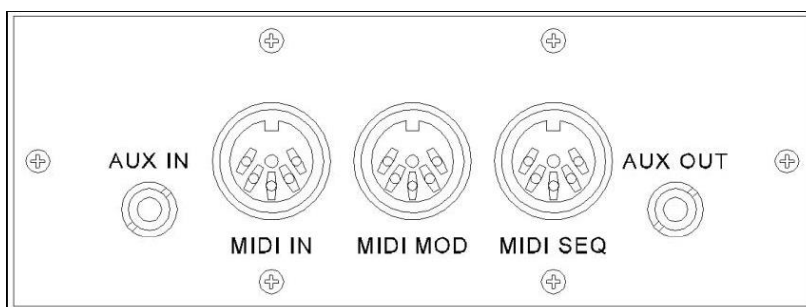


関連機器の添付説明書にしたがって設置してください。

1. オルガンと関連機器のスイッチをオフにします。
2. 関連機器をオルガンに接続します。
3. 関連機器のスイッチをオンにします。
4. オルガンのスイッチをオンにします。

3.4 外部接続

外部接続端子は演奏台下面の左側にあります。



MIDI IN: 他のデバイスからMIDI信号を受信する入力端子です。

MIDI MOD: プログラマブルMIDIストップの出力端子です。モジュールや拡張音源を接続します。

MIDI SEQ: シーケンサーやパソコンに接続するMIDI出力端子です。

AUX IN: 外部機器をオルガンのアンプに通して鳴らすためのステレオオーディオ入力端子です。
例えばMIDI MOD端子に接続した拡張音源などを内蔵スピーカーで鳴らすことができます。

AUX OUT: アンプやレコーダーなどの外部デバイスを接続するステレオオーディオ出力端子です。

PHONES: 手鍵盤の左側にヘッドフォン用のコネクタがあります。このコネクタはインピーダンス値が30オームかそれ以上のものに適しています(ヘッドフォンの仕様を確認して下さい)。



ヘッドフォンを使用する時、オルガン本体のスピーカーは自動的に消音されます。

4 操作

4.1 ボリューム

ORGAN:オルガンの音量を調節します。

CATHEDRAL:リバーブ(残響)の量を調節します。

4.2 エクスプレッションペダル

エクスプレッションペダルで、スウェル鍵盤の音量か全体の音量かどちらかを変化させます。

設定を変えなければ、スウェル鍵盤だけの音量を変化させます。この場合ディスプレイに“Exp:Sw”が表示されます。

Studio	Mem: 1
Tr: 0/440	Exp:Sw

ヨハネスメニューを使って、オルガン全体の音量を変化させる、ゼネラルスウェルに設定の変更が出来ます。4.11.4項を参照してください。

エクスプレッションペダルがゼネラルスウェルになっている場合、ディスプレイに“Exp:GS”が表示されます。

Studio	Mem: 1
Tr: 0/440	Exp:GS

エクスプレッションペダルを使う場合、スウェルストップの音質も変化します。パイプオルガンのスウェル効果を再現しています。

4.3 サラウンド リバーブ ASR12

ASR12 はデジタル残響効果システムです。オルガン音に無段階で調節できる残響音を付加し空間的な広がりを作り出します。

“CATHEDRAL”のボリュームを回してリバーブ量を調整します。リバーブの種類はヨハネスメニューで設定します。4.11.9項を参照してください。種類は、それぞれのオルガン様式ごとに設定できます。次の12種類のリバーブが、それぞれのオルガン様式ごとに、ヨハネスメニューで選択できます。

- Abbey Church (修道院の教会)
- Basilica (バジリカ風の教会)
- City Cathedral (市の大聖堂)
- Concert Hall (コンサートホール)
- Hill Church (丘の教会)
- Marble Church (大理石の教会)
- Marble Room (大理石の部屋)
- Music Room (音楽室)
- Palace Hall (宮殿のホール)
- Royal Auditorium (王立音楽堂)
- Town Church (街の教会)
- Village Chapel (村の教会)

オルガン様式にリバーブを設定する場合は 4.11.9項を参照してください。

4.4 オルガン様式

このオルガンは、ロマンティック(ROM)、シンフォニック(SYM)、パロック(BAR)、ヒストリック(HIS)の4つの様式を有しています。これらを選ぶには、(ROM)、(SYM)、(BAR)、(HIS)のいずれかのボタンを押します。

4.5 ストップ

ストップは、タブレットスイッチ、プリセットボタン、メモリーボタンで動作します。

タブレットスイッチのランプが点灯しているストップが発音します。

ストップは、次の3つのグループに分かれています。

PEDAL: ペダル鍵盤(足鍵盤)に関するストップです。

GREAT: グレート鍵盤(下鍵盤)に関するストップです。

SWELL: スウェル鍵盤(上鍵盤)に関するストップです。

4.6 カプラー

マニュアルカプラー

SWELL - GREAT: スウェル鍵盤の全鍵をグレート鍵盤に連結します。

ペダルカプラー

GREAT - PEDAL: グレート鍵盤の全鍵をペダル鍵盤に連結します。

SWELL - PEDAL: スウェル鍵盤の全鍵をペダル鍵盤に連結します。

マニュアルバス

ペダルの1音がグレート鍵盤に連結します。グレート鍵盤で弾いている一番低い鍵だけがペダルからグレートに連結します。

MANUAL BASSタブレットで、マニュアルバスを動作させます。もし和音を弾いていて、一番下の鍵を離鍵したときはマニュアルバス効果で連結していたペダル音は、次に低い鍵が押されるまで消音します。これは低音のジャンピングを防ぐためです。

4.7 アクセサリー

コーラス (CH)

コーラスは僅かにオルガンストップの調律をずらし、音に広がりを与え、生き生きとさせる効果です。

(CH)ボタンでコーラスを動作させます。

リードオフ (RO)

リードオフは全リードストップを一齐に消す効果です。このボタンがオンの間、リードストップは全て発音しません。このボタンをオフにすると、ボタンを押す前のリードストップの状態に戻ります。

(RO)ピストンでReed Off効果を動作させます。

リコール/リセット (O)

(O)ボタンで2通りのレジストレーションのキャンセルが出来ます。

1. 短く(O)ボタンを押す: 直前の操作をキャンセルします。
2. やや長めに(O)ボタンを押す: 全てのレジストレーションをキャンセルします。

4.8 プリセット（あらかじめプログラムされているメモリー部）

あらかじめプログラムされたメモリーは（PP）・・・（T）（PL）ボタンを押すと得られます。これら7つのメモリーは、あらかじめ工場でセットされたもので、静かなピアノシモから強いトゥッティーや古典的なプレナムまで、適切なストップの組合せをメモリーしています。

プリセットの呼び出し

あらかじめプリセットされたメモリーボタン、（PP）・・・（T）（PL）を押します。発音するストップが点灯します。

プリセットの変更



現在セッティングしてあるプリセットメモリーが消えますので注意してください。



プリセットメモリーには、どんなレジストレーションでも記録できますが、ピストンの表記内容に相応しいレジストレーションの選定が賢明です。

1. 希望するストップを選びます。
2. （SET）ボタンを押しながら、希望するプリセットボタン（PP・・・TまたはPL）のいずれかのピストンを押します。
3. （SET）ボタンを離します。

4.9 メモリー

メモリーを使えば、ボタン一押しで、レジストレーションを再現できます。

メモリーには、75のレベルがあります。これらのレベルはディスプレイに（Mem:...）と表示されます。各レベルにそれぞれ8個（1-8）のメモリーボタンがあります。600のキャプチャーメモリー部が空きの状態で用意されていて、演奏者がプログラムできるようになっています。

メモリーの設定



現在セッティングしてあるメモリーが消えますので注意してください。

1. 希望するストップを選びます。
2. （-）と（+）ボタンでメモリーするレベル（1-75）の1つを選びます（ディスプレイに表示されます）。
3. （SET）ボタンを押しながら、希望する番号のボタン（1-8）を押します。
4. （SET）ボタンを離します。

メモリーの呼び出し

1. （-）と（+）ボタンを使って、ディスプレイ表示のレベル（1-75）を選びます。
2. 希望する番号のボタン（1-8）を押します。

4.10 トランスポーズ（移調）

トランスポーズはピッチを半音ずつ（-8から+8の範囲で）移調します。トランスポーズの設定はディスプレイで確認できます。（Tr: …）と表示されます。

1. (TRANS)ボタンを押します。
2. (-)と(+)ボタンを使って、ピッチを設定します。
3. 移調を記憶させる場合は、(TRANS)ボタンが点灯している間に(ENTER)ボタンを押します。

4.11 メニュー（Johannus Menu）

ヨハネスメニューでいくつかの機能が設定出来ます。

(MENU)ボタンを押すと、ディスプレイに(Johannus Menu :)が表示されます。メニューを見るには、(-)と(+)ボタンを使います。メニューを選択する場合は、(ENTER)を押します。メニューのキャンセルやひとつ前に戻るには (MENU)ボタンを押します。メニューには、次の項目があります。

項目		操作説明
Datadump	データダンプ	§ 4.11.1
Demo Songs	デモ曲	§ 4.11.2
Display Contrast	ディスプレイコントラスト	§ 4.11.3
Expression Pedal	エクスプレッションペダル	§ 4.11.4
Keyboard Config	キーボード設定	§ 4.11.5
Key Volumes	キーボリューム	§ 4.11.6
MIDI Config	MIDI 設定	§ 4.11.7
Reset Procedures	リセット手順	§ 4.11.8
Reverb Settings	リバーブの設定	§ 4.11.9
Startup Settings	スタート時の設定	§ 4.11.10
Temperaments	テンペラメント	§ 4.11.11
Tuning	チューニング	§ 4.11.12
Version	バージョン	§ 4.11.13

4.11.1 データダンプ（Datadump）

データダンプは、オルガンから記録媒体（例えば、シーケンサー）に、MIDI SEQ端子から信号を送り出す操作です。3.4項を参照して下さい。

1. (MENU)ボタンを押します。
2. (-)と(+)ピストンを使って、ディスプレイに “Datadump” を表示させます。
3. (ENTER)ボタンを押します。
“Press ENTER” がディスプレイに表示されます。
4. 記録する機器が正しく接続されていることを確かめます。
5. (ENTER)ボタンを押します。データが転送されている間、
“Sending data . . . ” がディスプレイに表示されます。
データ転送にしばらく時間がかかります。

**Johannus Menu:
Datadump**

**Datadump
Press ENTER**

**Datadump
Sending data . . .**



“Sending data...”がディスプレイに表れている間はオルガンを操作しないでください。

6. データダンプが終了すると、ディスプレイはメインメニューを表示します。
7. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

**Johannus Menu:
Datadump**

**Studio Mem: 1
Tr: 0/440 Exp:Sw**

4.11.2 デモ曲 (Demo Songs)

4種類のデモ曲を演奏することが出来ます。

1. (MENU)ボタンを押します。
2. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに “Demo Songs” を表示させます。
3. (ENTER)ボタンを押します。
1曲目がディスプレイに表示されます。
4. (-)と(+)ボタンを使って、4曲の中から1曲のデモ曲を選びます。
5. (ENTER)ボタンを押してデモ曲を決定します。
6. (-)と(+)ボタンを使って、
選択した1曲のみを演奏する “Play one demo” または
全曲を演奏する “Play all demo's” を選びます。
7. (ENTER)ボタンを押すと、選んだデモソングの演奏がスタートします。ディスプレイにデモソングの曲名と作曲者名が表示されます。

**Johannus Menu:
Demo Songs**

**Demo Songs
Almachtige...**

**Almachtige...
Play one demo**

**Almachtige...
A. van Vliet ♪**



デモ曲の演奏中は、以下の操作を除いて、オルガンの操作はできません。

- a. (O) ボタン: デモ曲の演奏をストップします。
- b. ORGAN ボリュームノブ: オルガンの音量を調節します。
- c. CATHEDRAL ボリュームノブ: 残響を調節します。

8. デモ曲を演奏した後、(MENU)ボタンを押してメインメニューに戻ります。
9. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

**Johannus Menu:
Demo Songs**

**Studio Mem: 1
Tr: 0/440 Exp:Sw**

4.11.3 ディスプレイ コントラスト (Display Contrast)

ディスプレイ表示の濃淡が調整出来ます。

1. (MENU)ボタンを押します。
2. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに “Display Contrast” を表示させます。

**Johannus Menu:
Display Contrast**

3. (ENTER)ボタンを押します。
現在設定されているコントラストレベルが表示されます。
4. (-)と(+)ボタンを使って、希望するコントラストレベルを選びます。
5. (ENTER)ボタンを押して、メインメニューに戻ります。
6. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Display Contrast
Level: 9

Johannus Menu:
Display Contrast

Studio **Mem: 1**
Tr: 0/440 **Exp:Sw**

4.11.4 エクスプレッションペダル (Expression Pedal)

エクスプレッションペダルの機能を選択出来ます。

1. (MENU)ボタンを押します。
2. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに “Expression Pedal” を表示させます。
3. (ENTER)ボタンを押すと、設定内容が表示されます。
“Swell on Swell”: エクスプレッションペダルで上鍵盤だけを調節します。
“General Swell”: 楽器全体の音量を調節します。
4. (-)と(+)ボタンを使って、希望する機能を選びます。
5. (ENTER)ボタンを押して、メインメニューに戻ります。
6. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
Expression Pedal

Expression Pedal
Swell on Swell

Johannus Menu:
Expression Pedal

Studio **Mem: 1**
Tr: 0/440 **Exp:Sw**

4.11.5 キーボード設定 (Keyboard Config)

鍵盤の働き(反応)を設定します。

1. (MENU)ボタンを押します。
2. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに “Keyboard Config” を表示させます。
3. (ENTER)ボタンを押すと、鍵盤の1つが表示されます。
4. (-)と(+)ボタンを使って、設定する鍵盤を選びます。
5. (ENTER)ボタンを押すと、カーソルが2行目に移動します。
6. (-)と(+)ボタンを使って、鍵盤の働き(反応)を選びます。
 - Automatic: 鍵盤は High に設定されています。プログラマブルMIDIストップが使用される
ときは自動的に Velocity に設定されます。
 - High: 鍵盤の発音位置が浅くなります。
 - Low: 鍵盤の発音位置が深くなります。
 - Velocity: 発音はタッチに反応します。
7. (ENTER)ボタンを押して設定するとカーソルが一行目に戻ります。
8. (MENU)ボタンを押してメインメニューに戻ります。
9. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
Keyboard Config

>Great
Automatic

Great
>Automatic

>Great
Automatic

Johannus Menu:
Keyboard Config

Studio **Mem: 1**
Tr: 0/440 **Exp:Sw**

4.11.6 キーボリューム（Key Volumes）



コードの入力を求められた場合、キーボリューム機能は保護されています。コードが必要な場合は販売店にお問合せ下さい。メモリーボタン(1-8)を使ってコードを入力し (ENTER) ボタンを押します。

Enter code :
_ _ _ _

キーボリューム操作には次の3つがあります。

- Adjust / 調整
- Reset one stop / 1ストップのみリセット
- Reset ALL stops / 全ストップをリセット

調整（Adjust）

各ストップと各オルガン様式に対して、各キーのボリュームが設定出来ます。

1. 全ストップをオフにします。
2. オルガン様式を選択します。
3. (MENU)ボタンを押します。
4. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに “Key Volumes” を表示させます。
5. (ENTER)ボタンを押します。
6. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに “Adjust” を表示させます。
7. (ENTER)ボタンを押すと、“Select a stop to Adjust” (調整するストップを選んで下さい) と表示されます。
8. 1つのストップを押して点灯させます。ディスプレイに “Press a key” (鍵盤を押して下さい)、と表示されます。
9. 該当する鍵盤を押したままにすると、ディスプレイに “Key” と “Vol” が表示されます。
10. (-)と(+)ボタンを使って、希望する音量に設定します。
11. (ENTER)ボタンを押して変更をセーブ(保存)します。
12. ディスプレイが確認を求めてきます。
(-)と(+)ボタンを使って(No)か(Yes)を選択します。
13. (ENTER)ボタンを押して確定します。
14. (MENU)ボタンを押してメインメニューに戻ります。
15. 変更をセーブしていない場合、ディスプレイに “Discard changes?” (変更を中止しますか?) と表示されます。変更を中止する場合は(-)と(+)ボタンを使って “Yes” を選んで (ENTER) ボタンを押します。
16. 変更をセーブする場合は(-)と(+)ボタンを使って “No” を選んで(ENTER)ボタンを押します。
17. (ENTER)ボタンを押すと、ディスプレイが “Save Changes?” (変更をセーブしますか?) と表示されます。

Johannus Menu:
Key Volumes

Key Volumes
Adjust

Select a stop
to adjust

Key: press a key
Vol: _ / +

Key: 3 C
Vol: 83 _ / +

Save changes?
No/Yes

Johannus Menu:
Key Volumes

Discard changes?
No/Yes

Key: press a key
Vol: _ / +

Save changes?
No/Yes

18. (-)と(+)ボタンを使って“Yes”を選びます。
19. (ENTER)ボタンを押して確定します。
20. (MENU)ボタンを押してメインメニューに戻ります。
21. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

**Johannus Menu:
Key Volumes**

**Studio Mem: 1
Tr: 0/440 Exp:Sw**



同じ操作により、他のキーや他のストップの音量を変更することが出来ます。

各ストップのリセット (Reset one stop)

リセットワンストップは、1つのオルガン様式に対し、各ストップの鍵盤音量を初期設定(工場出荷状態)に戻すための操作です。

1. 全ストップをオフにします。
2. オルガン様式を選択します。
3. (MENU)ボタンを押します。
4. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに“Key Volumes”を表示させます。
5. (ENTER)ボタンを押します。
6. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに“Reset one stop”を表示させます。
7. (ENTER)ボタンを押します。ディスプレイに“Select a stop to reset”(リセットするストップを選んで下さい)と表示されます。
8. 1つのストップをオンにします。
9. ディスプレイが承認を求めてきます。
(-)と(+)ボタンを使って(No)か(Yes)を選択します。
10. (ENTER)ボタンを押すと、Reset(リセット)が実行され
“Key Volumes”に戻ります。
11. (MENU)ボタンを押してメインメニューに戻ります。
12. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

**Johannus Menu:
Key Volumes**

**Key Volumes
Reset one stop**

**Select a stop
to reset**

**Reset this stop?
No/Yes**

**Key Volumes
Reset one stop**

**Johannus Menu:
Key Volumes**

**Studio Mem: 1
Tr: 0/440 Exp:Sw**

全ストップのリセット (Reset ALL stops)

リセットオールストップは、1つのオルガン様式に対し、全ストップの鍵盤音量を初期設定(工場出荷状態)に戻すための操作です。

1. オルガン様式を選択します。
2. (MENU)ボタンを押します。
3. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに“Key Volumes”を表示させます。
4. (ENTER)ボタンを押します。
5. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに“Reset ALL stops”を表示させます。
6. (ENTER)ボタンを押します。

**Johannus Menu:
Key Volumes**

**Key Volumes
Reset ALL stops**

7. ディスプレイが承認を求めてきます。
(-)と(+)ボタンを使って(No)か(Yes)を選択します。
8. (ENTER)ボタンを押すと、Reset(リセット)が実行され
“Key Volumes”に戻ります。
9. (MENU)ボタンを押してメインメニューに戻ります。
10. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Reset ALL stops?
No/Yes

Key Volumes
Reset ALL stops

Johannus Menu:
Key Volumes

Studio **Mem: 1**
Tr: 0/440 **Exp:Sw**

4.11.7 MIDI(ミディ)設定 (MIDI Config)

MIDI(ミディ)は、オルガンと接続機器(パソコン、シーケンサー、電子楽器など)の間でデータを送受信する機能です。プログラマブルMIDIストップは、任意のMIDIチャンネル(1-16)で外部音源の音色をコントロールすることが出来ます。プログラムできるMIDI情報は、チャンネル・MSB・LSB・ヴォイスの4つです。

1. (MENU)ボタンを押します。
2. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに“MIDI Config”
を表示させます。
3. (ENTER)ボタンを押します。ディスプレイに“Select a
MIDI Stop to config”(設定するMIDIストップを選んで
下さい)と表示されます。
4. 設定したいMIDIストップを押して点灯させます (SwellのMIDIストップを例に説明します)。
ディスプレイの一行目に“Swell channel”と、選ばれた
MIDIストップが表示されます。2行目はセットする4つの
項目-Channel, Msb., Lsb., Voice-(チャンネル、MSB、
LSB、ヴォイス)を表します(チャンネルの 2 はSwell Channelを意味しています)。
5. (-)と(+)ボタンを使って、希望するMIDIチャンネルを
選びます。
6. (ENTER)ボタンを押します。ディスプレイに Swell Msb.
と表示されます。
7. 必要に応じて、(-)と(+)ボタンで MSB を設定します。
8. (ENTER)ボタンを押します。ディスプレイに Swell Lsb.
と表示されます。
9. 必要に応じて、(-)と(+)ボタンで LSB を設定します。
10. (ENTER)ボタンを押します。ディスプレイに Swell Voice
と表示されます。
11. (-)と(+)ボタンで希望する音色番号を設定します。
12. (ENTER)ボタンを押します。選定された内容がメモリーに
記憶されます。4つあるMIDI情報のうち、1番目の項目が
ディスプレイに表示されます。
13. (MENU)ボタンを押してメインメニューに戻ります。
14. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
MIDI Config

Select a MIDI
Stop to config

Swell Channel
2 0 0 1

Swell Msb.
2 0 0 1

Swell Lsb.
2 0 0 1

Swell Voice
2 0 0 1

Swell Channel
2 0 0 1

Johannus Menu:
MIDI Config

Studio **Mem: 1**
Tr: 0/440 **Exp:Sw**

4.11.8 リセット手順 (Reset Procedures)

工場出荷時の初期設定に戻すことができます。

1. (MENU)ボタンを押します。
2. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに“Reset Procedures”を表示させます。
3. (ENTER)ボタンを押します。リセット手順の最初の項目がディスプレイに表示されます。
4. (-)と(+)ボタンを使って、リセットしたい項目を選びます。
 - Memory default: メモリーを消去します。
 - MIDI default: MIDIを初期設定に戻します。
 - Preset default: プリセットを初期設定に戻します。
 - Reverb default: リバーブを初期設定に戻します。
5. (ENTER)ボタンを押します。
ディスプレイが確認を求めています。
6. (-)と(+)ボタンを使って(No)か(Yes)を選択します。
7. (ENTER)ボタンを押すと、Reset(リセット)が実行され“Reset Procedures”に戻ります。
8. (MENU)ボタンを押してメインメニューに戻ります。
9. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

**Johannus Menu:
Reset Procedures**

**Reset Procedures
Memory default**

**Memory default
No/Yes**

**Reset Procedures
Memory default**

**Johannus Menu:
Reset Procedures**

**Studio Mem: 1
Tr: 0/440 Exp:Sw**

4.11.9 リバーブの設定 (Reverb Settings)

オルガン様式別にリバーブの設定が変更出来ます。

1. (ROM, SYM, BAR, HIS) ボタンで、変更したいオルガン様式を選択します。
2. (MENU)ボタンを押します。
3. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに“Reverb Settings”を表示させます。
4. (ENTER)ボタンを押します。リバーブ設定の最初の項目がディスプレイに表示されます。
5. (-)と(+)ボタンを使って、変更したいリバーブの項目を選びます。
 - Reverb Program: リバーブの種類
 - Reverb Length: リバーブの長さ
 - Reverb 3D Surround: 3Dサラウンド効果
6. (ENTER)ボタンを押して確定します。
ディスプレイの1行目にオルガン様式が、2行目に選択した項目の設定値が表示されます。
7. (-)と(+)ボタンで選択した項目の設定値を変更します。
8. (ENTER)ボタンを押すと、変更が実行され“Reverb Settings”に戻ります。
9. (MENU)ボタンを押してメインメニューに戻ります。
10. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

**Johannus Menu:
Reverb Settings**

**Reverb Settings
Reverb Program**

**Romantic
Town Church**

**Reverb Settings
Reverb Program**

**Johannus Menu:
Reverb Settings**

**Studio Mem: 1
Tr: 0/440 Exp:Sw**

4.11.10 スタート時の設定 (Startup Settings)

電源スイッチをオンしたときのコーラスとオルガン様式を設定出来ます。

1. (MENU)ボタンを押します。
2. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに“Startup Settings”を表示させます。
3. (ENTER)ボタンを押します。
設定の最初の項目がディスプレイに表示されます。
4. (-)と(+)ボタンを使って、Chorus On/Off(コーラスOn/Off)かDefault Into.(初期設定のオルガン様式)を選択します。
5. (ENTER)ボタンを押します。
6. (-)と(+)ボタンを使って、変更内容を選びます。
-Chorus On/Off:コーラスの OnかOff を選びます。
-Default Into: 4つのオルガン様式から選びます。
7. (ENTER)ボタンを押すと、
変更が実行され“Startup Settings”に戻ります。
8. (MENU)ボタンを押してメインメニューに戻ります。
9. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
Startup Settings

Startup Settings
Chorus On/Off

Startup Settings
Chorus On/Off

Johannus Menu:
Startup Settings

Studio Mem: 1
Tr: 0/440 Exp:Sw

4.11.11 テンペラメント 音律 (Temperaments)

テンペラメント(音律)を選択出来ます。



この設定は記憶されません。電源をオフにして再度オンにすると、平均律に戻ります。

1. (MENU)ボタンを押します。
2. (-)と(+)ボタンでディスプレイに“Temperaments”を表示させます。
3. (ENTER)ボタンを押します。現在設定されている音律がディスプレイに表示されます。
4. (-)と(+)ボタンを使って、希望する音律(11種類)を選びます。
 - 平均律 Equal (normal temperament)
 - ヤング II Young II
 - ヴァロットティ Vallotti
 - キルンベルガー III Kirnberger III
 - キルンベルガー II Kirnberger II
 - ナイトハルト III Neidhardt III
 - ヴェルクマイスター III Werckmeister III
 - 1/6 ミーントーン 1/6 Meantone
 - 1/5 ミーントーン 1/5 Meantone
 - 1/4 ミーントーン 1/4 Meantone
 - ピタゴリアン Pythagorean
5. (MENU)ボタンを押してメインメニューに戻ります。
6. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu:
Temperaments

Temperaments
Equal

Johannus Menu:
Temperaments

Studio Mem: 1
Tr: 0/440 Exp:Sw

4.11.12 チューニング (Tuning)

ピッチを変更する操作です。426Hzから454Hzまで（標準＝440Hz）1Hz単位での設定が可能。
設定したピッチはディスプレイ（トランスポーズ表示の右）で直接確認できます。

1. (MENU)ボタンを押します。
2. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに“Tuning”を表示させます。
3. (ENTER)ボタンを押します。
現在設定されているピッチがディスプレイに表示されます。
(-)と(+)ボタンを使って、希望するピッチを選びます。
4. (ENTER)ボタンを押すと、変更が実行されメインメニューに戻ります。
5. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu: Tuning

Tuning 440 Hz

Johannus Menu: Tuning

Studio	Mem: 1
Tr: 0/440	Exp:Sw

4.11.13 バージョン (Version)

この機種で使われているソフトウェアのバージョンナンバーが表示されます。

1. (MENU)ボタンを押します。
2. (-)と(+)ボタンを使って、ディスプレイに“Version”を表示させます。
3. (ENTER)ボタンを押します。
ソフトウェアのデータがディスプレイに表示されます。
4. (MENU)ボタンを押してメインメニューに戻ります。
5. (MENU)ボタンを押してヨハネスメニューを終了します。

Johannus Menu: Version

JH0 XXXX OC XXXX

Johannus Menu: Version

Studio	Mem: 1
Tr: 0/440	Exp:Sw

5 メンテナンス、トラブルシューティング、保証

5.1 メンテナンス

	メンテナンス	頻度
キャビネット	クリーニング方法は § 5.1.1 を参照。	必要に応じて
鍵盤	クリーニング方法とキズの除去については § 5.1.2 を参照。	必要に応じて

5.1.1 キャビネットのお手入れ



キャビネットのお手入れに家具用ポリッシャーやチークオイルは使用しないで下さい。直射日光はキャビネットを変色させることがあります。

1. キャビネットは湿った布で汚れを落します。
2. 糸くずが出ない乾いた布で拭き取って下さい。

5.1.2 鍵盤のお手入れ

鍵盤は合成樹脂で出来ています。



汚れ落としに、シンナーやアセトンなどは使用しないで下さい。

1. 鍵盤は湿った布で汚れを落します。
2. 糸くずが出ない乾いた布で拭き取って下さい。
3. 引っかきキズは車のワックスでとります。

5.2 不具合

不具合	原因	処置
足鍵盤の音が出ない。	足鍵盤のマグネットがフロントカバーの内側のリードスイッチに正しく作用していない。	足鍵盤を正しくセットし直して下さい。 § 2.1.3 参照。
オルガンが正しく作動しない。	オルガンの電源がアースされていません。	オルガンをアースの取れる電源に接続して下さい。

5.3 保証

保証内容は保証書に説明されているとおりです。ヨハネス社の認めていない者が、オルガンを改造・修理した場合、保証は無効となります。

6 MIDI インプリメンテーション (MIDI IMPLEMENTATIONS)

6.1 MIDI インプリメンテーションチャート (MIDI Implementation Chart)

JOHANNUS Organs

Date: September 2008

MIDI Implementation chart

Version 1.00

Functions		Transmitted	Recognized	Remarks
Basic Channel	Default Changes	See MIDI Specs See MIDI Specs	See MIDI Specs Y ¹	See MIDI Specs
Mode	Default Messages Altered	Mode 3 N *****	Mode 3 N N	
Note Number	True Voice	36-96 *****		
Velocity	Note ON Note OFF	9nH v=1-127 9nH (v=64) 9nH (v=0)	9nH v=1-127 9nH v=1-127 9nH v=0, 8nH v=*	Velocity ON Velocity OFF *=irrelevant
After Touch	Keys Channels	N N		
Pitch Bend		N		
Control Change	7 11 100/101/6 100/101/6	Y Y Y Y		General Volume Expression Pedals Pitch Transpose
Program Change	:True#	See MIDI Specs *****	See MIDI Specs See MIDI Specs	See MIDI Specs See MIDI Specs
System Exclusive		See MIDI Specs	See MIDI Specs	See MIDI Specs
Common	:Song Pos :Song Sel :Tune	N N N	N N N	
System Real Time	:Clock :Commands	N N	N N	
Aux	:Reset All Controller :Local ON/OFF :All Notes OFF :Active Sense :Reset	N N Y N N	N N Y N N	
Notes		¹ Depends on number of divisions		

Mode 1: OMNI ON, POLY

Mode 2: OMNI ON, MONO

Y=YES

Mode 3: OMNI OFF, POLY

Mode 4: OMNI OFF, MONO

N=NO

6.2 MIDI 仕様 (MIDI Specifications)

MIDI インプリメンテーションチャートの仕様について詳しく説明します。

初期設定 基本チャンネル(送信/受信) Default basic channels (transmitted/recognized)

1: Great
2: Swell
3: Pedal
12: Stops

基本チャンネルの変更(送信) Basic channel changes (transmitted)

MIDI設定によるプログラムが可能です。 § 4.11.7. を参照して下さい。

コントロール チェンジ(送信) Control changes (transmitted)

Controller 7 (07h) ボリューム、可変値: 40 (28h) – 127 (7Fh)

Controller 11 (0Bh) エクスプレッションペダル、可変値: 55 (37h) – 127 (7Fh)

Controller 6 (06h) ピッチ、可変値: 28 (1Ch) – 99 (63h)

ピッチ: 64 (40h) = A = 440Hz.

ピッチの適用:

LSB 100 (64h) 1 (01h) と MSB 101 (65h) 0(00h).

トランスポーズ、可変値: 56 (38h) – 72 (48h)

トランスポーズ: 64 (40h) = a = 440Hz

トランスポーズの適用:

LSB 100 (64h) 2 (02H) と MSB 101 (65h) 0(00h).

コントロール チェンジ(受信) Control changes (recognized)

Controller 7 (07h) ボリューム、可変値: 0 (00h) – 127 (7Fh)

40(28h)以下の値は、40 (28h)とみなします。

Controller 11 (0Bh) エクスプレッションペダル、可変値: 0 (00h) – 127 (7Fh).

55 (37h)以下の値は、55 (37h)とみなします。

プログラムチェンジ(送信/受信) Program changes (transmitted/recognized)

オルガンストップ: ストップの番号とストップの並びにより決定されます。

プログラマブルMIDIストップ: 1-128. § 4.11.7. 参照。

システムエクスクルーシブメッセージ(送信/受信) System exclusive messages

(transmitted/recognized)

各エクスクルーシブメッセージは、大部分が同じように見えます。1~7バイトと最後のバイトは全て同じです。8番目のバイトだけが変ります。ヨハネスが普通に使用しているエクスクルーシブメッセージは: F0 00 4A 4F 48 41 53 XX F7 (16進法)です。8番目の値と、その機能について以下に説明します。

全ストップオフ All stops off

全ストップオフのエクスクルーシブコードは7Fです。このエクスクルーシブコードは、MIDIシーケンサーに対し“0” ボタンを長く押した場合に出力されます。全ストップオフのコードを受け取った場合、楽器の全ストップがスイッチオフとなります。

ボタンの数値 Push button values

ボタンが押された場合、MIDI MOD端子からボタンの数値(例えば“PP” = 01)が出力されます。これらのエクスクルーシブコードは、ヨハネスサウンドモジュール CMS 128 が接続されたときだけ意味を持ちます。

他のMIDIコード(送信) Other MIDI codes (transmitted)

“0” ボタンが押された場合は、all stops off (全ストップ オフ) と全ての音量セッティング情報がMIDI SEQ端子から送信されます。

JOHANNUS 総輸入元
株式会社 河合楽器製作所

本社 古典楽器担当
〒430-8665 浜松市中区寺島町 200
Tel:053-457-1266 Fax:053-457-1303

東京オフィス
〒140-0002 品川区東品川 4-10-27
Tel:03-6718-4169 Fax:03-6712-8125